

OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025

大阪・関西万博 基本計画について

公益社団法人
2025年日本国際博覧会協会

2021年3月

資料3-1-1

- 大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を体現する様々な参加形態や事業、会場のデザインを含む会場計画、運営計画、資金計画等をまとめた協会のマスタープラン（2020年12月25日策定・公表）
- 今後、基本計画に基づき、参加国、国際機関への招請活動や企業・団体・自治体・市民団体等の参加と共創を促進するとともに、各事業の実施計画の策定や具体的な取り組みを推進

開催概要

名称 2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）

テーマ いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ Saving Lives（いのちを救う）
Empowering Lives（いのちに力を与える）
Connecting Lives（いのちをつなぐ）

コンセプト People's Living Lab（未来社会の実験場）

会場 夢洲(ゆめしま)（大阪市臨海部）

開催期間 2025年4月13日（日曜日）～10月13日（月曜日）

来場者数（想定） 約2,820万人

夢洲（ゆめしま）



大阪市内の臨海部に位置する人工島であり、来場者は瀬戸内海の美しい景観に接することができる。世界とつながる海と空に囲まれた万博として、ロケーションを生かした企画や発信を行っていく。

- 四方を海に囲まれた会場ロケーションを活かし、世界とつながる「海」と「空」に囲まれた万博としての会場デザイン及び企画などを実施
- 「非中心・離散」の理念によって多様性を鼓舞し、そこに「つながり」を重ね合わせた「多様でありながら、ひとつ」をデザイン



- 万博会場はパビリオンワールド、グリーンワールド、ウォーターワールドの3つのエリアで構成



グリーンワールド

- 会場の西側の海に面した緑地エリア。
- 屋外イベント広場や交通ターミナル、エントランス広場等、大人数が滞留することのできる開けた空間とする。

パビリオンワールド

- パビリオン等の施設が集まるにぎわいのエリア。主動線としてリング状のメインストリートと離散的に大小の広場を設け、ここからすべてのパビリオンにアクセスできる。
- メインストリートの上部には大屋根（リング）を設置。
- メインストリートから離れた位置に樹木を配した広場（静けさの森）を作り、これにつながるようテーマ館が配置される。

ウォーターワールド

- 水景を活用した憩いのエリア。水辺に面して飲食施設を配置するとともに、水上イベントの舞台としても活用。

- 大阪・関西万博の3つのサブテーマを通じて、テーマの実現を目指す。
- 世界各国の公式参加者（参加国や国際機関）は、それぞれの立場からSDGs達成に向けた優れた取り組みを持ち寄り、会場全体でSDGsが達成された未来社会の姿を描く。

サブテーマ 一つ以上を選択	公式参加パビリオンのテーマ展開のトピック例		SDGs 17のゴール 一つ以上に取り組む
	個人の取組、自分自身の意識改革、啓発による気づき	コミュニティ、企業、政府、国、社会等による取組	
Saving Lives (いのちを救う)	生活の中の健康、健康寿命の延伸、心（精神）の健康、季節と衣食住、食と生活等	ライフサイエンス、労働環境の改善、貧困問題の解決、児童死亡率の低減等	
Empowering Lives (いのちに力を与える)	自己実現、ファッション、笑い、観光、文化、芸術、スポーツ、学び等	遠隔教育、ライフ・ワークスタイル、産業高度化、エンジェル投資等	
Connecting Lives (いのちをつなぐ)	デジタル活用、地球環境を意識した行動、気候変動への適応等	オンラインプラットフォーム、クラウド・ファンディング等	

150の国及び25の国際機関の参加を目指す

- 公式参加国は、3つのパビリオン出展形態から選択し、参加する。

パビリオン出展

タイプA (敷地渡し方式)

- 主催者が参加者に敷地を渡し、その中で自由に形状やデザインを構成するパビリオン。
- 参加者は大阪・関西万博終了後パビリオンの解体・撤去を行い、引き渡し時と同様の状態に戻す責任あり。

タイプB (建物渡し方式)

- 主催者が建築し、参加者のパビリオンとして提供。
- 参加者はパビリオンを借り受け、コンテンツを自由に決定し、自ら展示設備や内容、展示空間を作成。
- 参加者はパビリオンの内装や外装をデザインすることが可能。

タイプC (共同館方式)

- 参加者はパビリオン内の一部区画を借り受け、自ら展示設備や内装を行って展示空間を作成。
- 共同館は、区画を自由に区切ることが可能な設計。

- 地球的課題の解決において創造力は極めて重要であり、創造力を活かすことのできる社会の未来像を示すために、テーマ事業は、創造力を主体とした事業構築手法（クリエイティブ・ドリブン）によって進める。

各界のトップランナー8人が自ら創り上げるテーマ事業推進



「いのちを知る」

福岡 伸一

生物学者、青山学院大学教授

- 生命系全体の中にある私たちのいのちの在り方を確認する。



「いのちを育む」

河森 正治

アニメーション監督、
メカニックデザイナー

- 宇宙・海洋・大地に宿るあらゆるいのちのつながりを感じ、共に守り育てる。



「いのちを守る」

河瀬 直美

映画監督

- 危機に瀕し、人類は「分断」を経験する。「わたし」の中の「あなた」を認めるいとなみの行方に、多様ないのちが、それぞれに、護られてゆく未来を描く。



「いのちをつむぐ」

小山 薫堂

放送作家、脚本家

- 自然と文化、人と人とを紡ぐ「食べる」という行為の価値を考え、日本の食文化の根幹にある「いただきます」という精神を発信する。

各界のトップランナー8人が自ら創り上げるテーマ事業推進



「いのちを拡げる」

石黒 浩

大阪大学教授、
ATR石黒特別研究所客員所長

- 新たな科学技術で人や生物の機能や能力を拡張し、いのちを広げる可能性を探求する。



「いのちを高める」

中島 さち子

音楽家、数学研究者、STEAM教育家

- 遊びや学び、スポーツや芸術を通して、生きる喜びや楽しさを感じ、ともにいのちを高めていく共創の場を創出する。



「いのちを磨く」

落合 陽一

メディアアーティスト

- 自然と人工物、フィジカルとバーチャルの融和により、自然と調和する芸術の形を追求し、新たな未来の輝きを求める。



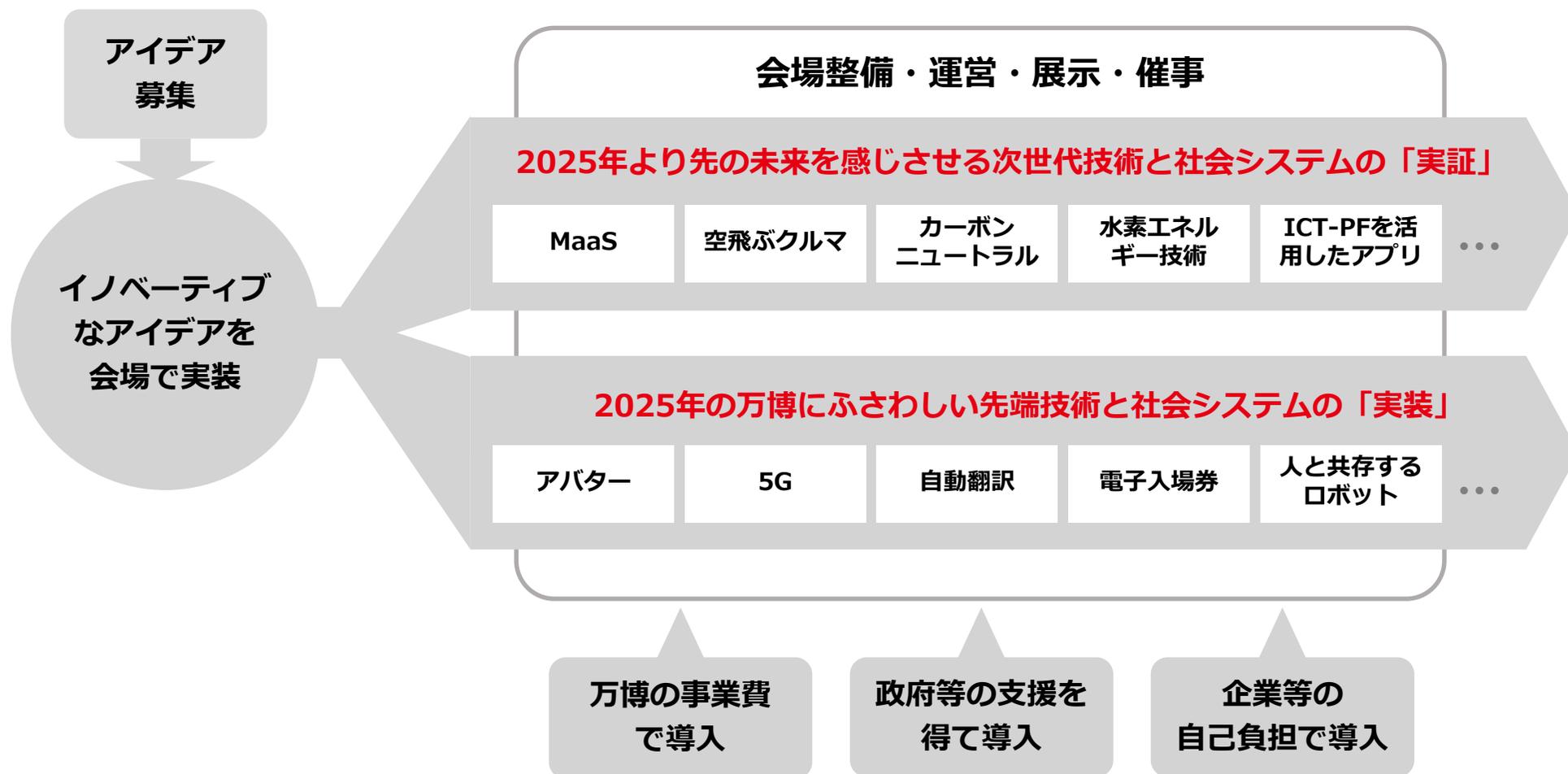
「いのちを響き合わせる」

宮田 裕章

慶応義塾大学教授

- 個性あるいのちといのちを響き合わせ、「共鳴するいのち」を共に体験する中で、一人ひとりが輝くことのできる世界の模式図を描く。

- 「Society 5.0実現型会場」の実現に向けて、幅広い参加を呼びかけながら、イノベティブなアイデアを会場で実装していくための取組を展開する。
- 事業の実施にあたっては、大阪・関西万博の事業費に加え、政府等の支援、民間企業の協賛等の協力を得て行う。



- 「Society 5.0実現型会場」の実現に向けて、現在検討を進めている具体的事業の例

カーボンニュートラル



画像 : Adobe Stock

- カーボンニュートラル、エネルギーを最適化する技術、水素エネルギー技術のショーケースとしての導入

デジタル



画像 : Adobe Stock

- リアルとバーチャルを融合した未来のエンターテインメントの実現
- デジタル技術を活用した入場制度、来場者サービスの実施

モビリティ



- 次世代モビリティとしての利活用が期待される空飛ぶクルマにより来場者に新たな移動体験を提供

今後、これらの事業を実現する具体的アイデア等を募りながら、「Society 5.0実現型会場」の実装を目指す

- 大阪・関西万博では、バーチャル技術を活用し、万博の魅力と発信力を高める「バーチャル万博」を行う。

	万博会場で行うプログラム (会期中実施)	万博会場とは別のプログラム (会期前から実施)
万博会場 (来場者向け)	会場内の展示や催事、 運営サービスを バーチャル技術を用いて高度化	
オンライン空間 (オンライン 参加者向け)	会場外からアバターで 参加可能な万博会場を オンライン空間上に展開	会場の内容とは別の プログラムを オンライン空間上で展開

「TEAM EXPO 2025」プログラム

- 会期前より2025年に向けて、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会を共に創り上げることを目指す取組を推進する。



共創チャレンジ

本万博のテーマの実現、SDGs達成の貢献に向けた多様な活動

(活動例)

- 産官学が連携し、持続可能な地域づくりをめざす活動
- 小中学生が子どもたちが、SDGs達成を目指すロボット制作を通じて世界の子どもと共創を進める活動
- アート・デザインの力を活用したSDGsの発信、社会活動
- 企業（ベンチャー企業、中小企業、大企業）がSDGs達成への貢献の元に進める新規事業活動
- 万博の機運醸成に関する活動（学校、企業、団体、様々なレベルで）
- その他、環境エネルギー、健康医療、観光など様々なテーマにおける活動



共創パートナー

多様な活動を創出・支援する企業・団体



人の支援



資金の支援



場・もの の支援



情報発信の支援

民間企業（金融、メディア、教育、メーカー等）、団体、
大学、国・自治体、社会起業家等

キーワード

SDGs Society5.0
共創（Co-Creation）
多様なセクターの参加

- 企業・団体等はともにテーマの実現をめざすパートナー。大阪・関西万博では、これまでの万博よりも幅広い、多様な参加形態を用意。

パビリオン出展

(敷地渡し方式)

建ぺい率70%以下（原則）高さ制限12m以下程度

敷地面積約3,500㎡（9区画程度）

一部を共同館とする場合も想定

テーマ事業協賛

主催者が企画するテーマ事業に協賛社として参加

資金協賛

設備・サービス提供

未来社会ショーケース事業参加

企業・団体が持つ先端技術やシステムを用いて、
会場内での実証や実装を行う

先端技術・システムの提供・運用

「TEAM EXPO 2025」プログラム参加

会期前より2025年に向けてテーマの実現を
目指して共創する取組への参加及び協賛

テーマ実現に向けた活動の創出・支援
資金協賛

催事参加

主催者催事への協賛又は
参加催事の持ち込み

資金協賛

催事プログラムの持ち込み

営業参加

物販・飲食・サービスによる参加

会場内営業施設出店
ライセンスビジネス参加

その他

会場建設費等への寄付
施設提供・貸与
広報参加
運営参加

今後のスケジュール

「基本計画」に基づき、各国への参加招請活動と企業等への参加招請活動を展開し、参加と共創を促進するとともに、各分野毎に詳細な計画を1～2年かけて作るフェーズへ入っていく。



資料3-1-15

